Innovation in Motion
TSUBAKI

第103期　事業のご報告

株主通信

2012年4月1日～2013年3月31日

証券コード | 6371

経営の現場から

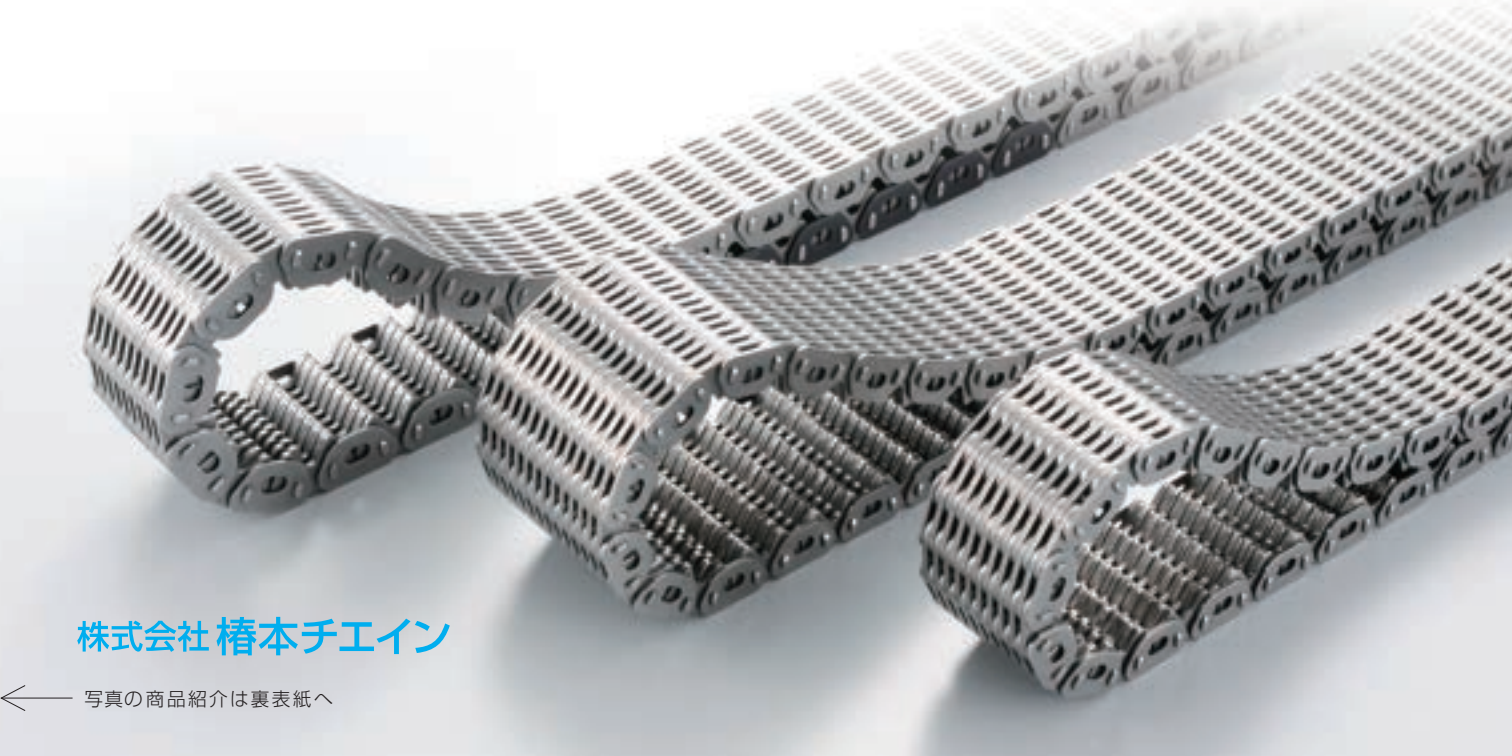
「中期経営計画2012」最終年度の売上高目標を達成

グローバルビジネスの現場から

メキシコ、インドネシアに製造拠点を設立

モノづくりの現場から

技を競い、技能を磨く「つばき技能オリンピック」開催



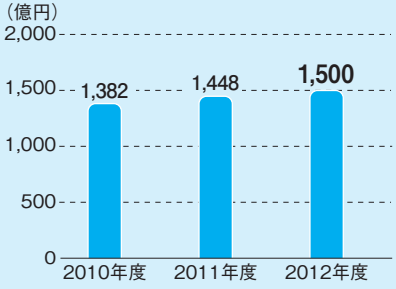
株式会社 椿本チエイン

← 写真の商品紹介は裏表紙へ

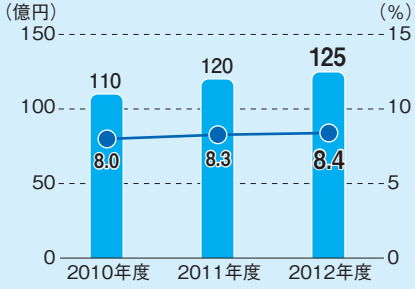
連結決算ハイライト

売上・利益指標

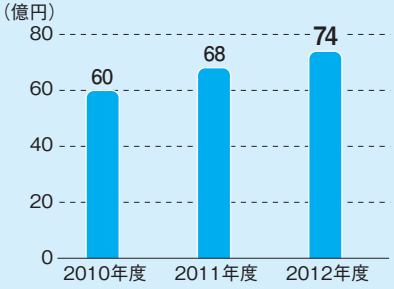
○売上高



○営業利益/営業利益率

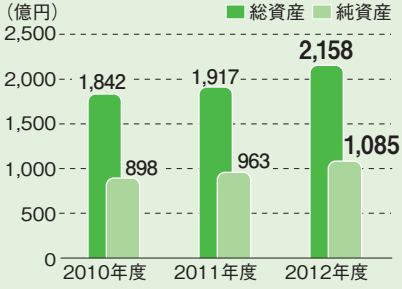


○当期純利益

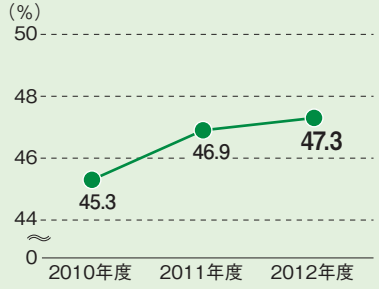


資産指標

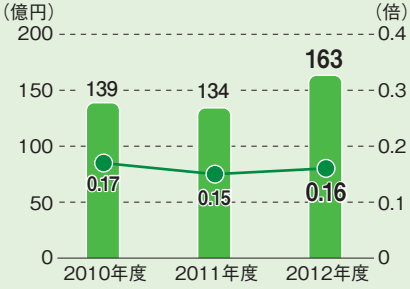
○総資産・純資産



○自己資本比率

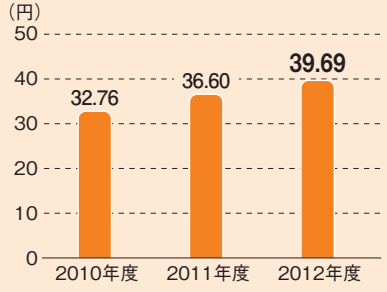


○純有利子負債残高/デット・エクイティ・レシオ(ネット)

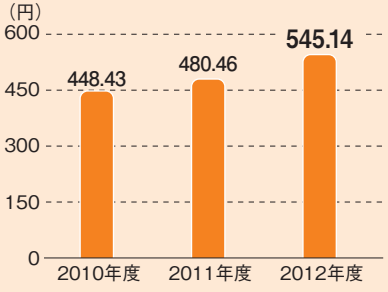


1株当たり指標

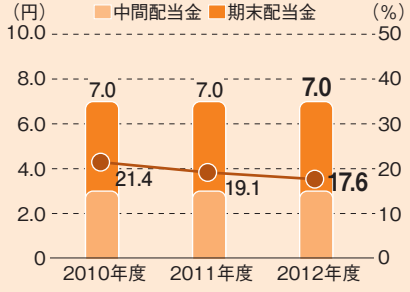
○1株当たり当期純利益



○1株当たり純資産



○1株当たり配当金/配当性向(連結)



※記載金額は億円単位での切捨、指標は四捨五入して表示しています。

2012年度 連結決算のポイント

自動車部品事業の牽引などにより、増収増益を達成

POINT 1

連結売上高は、1,500億円（前期比3.5%増）

○自動車部品事業の伸長やマテハン事業での新規連結効果などにより、「中期経営計画2012」最終年度の売上高目標を達成。

POINT 2

営業利益は、125億円（前期比4.1%増）

○営業利益は、2012年11月9日公表の予想値を4%上回り着地。
○営業利益率は8.4%に改善。（前期は8.3%）
○「中期経営計画2012」最終年度の利益目標に対し、達成率は93%と未達。

POINT 3

健全な財務体質を堅持

○自己資本比率は、47.3%に向上。（前期末は46.9%）
○埼玉工場の自動車部品新工場棟、中国・天津のコンベヤチェーン工場建設などの生産体制強化やM&Aなどの成長投資により、有利子負債残高は前期末より91億円増加したものの、ネットD/Eレシオは0.16倍と、財務体質の健全性を維持。

埼玉・自動車部品新工場棟

天津・コンベヤチェーン工場

2012年度の業績

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

2012年度の業績は、売上高1,500億円、営業利益125億円（利益率8.4%）となりました。

夏以降の国内景気減速や日中関係悪化に伴う中国ビジネスの減速懸念などから、2012年11月9日に連結業績予想を下方修正しましたが、その予想を上回って着地、前期比でも増収増益を達成することができました。これは、中国での自動車減産が想定より早く回復傾向となったこと、2013年に入ってからの円安基調がプラス要因となったことなどによるものです。

代表取締役社長
長　勇

「中期経営計画2012」の総括

「経営基盤強化の3年間」と位置づけ、2010年度からスタートした「中期経営計画2012」が2012年度で終了しました。数値の面からは、売上高は当初の目標を達成しましたが、営業利益率9%の目標には届きませんでした。

当社グループはこの3年間、①グローバル·ベスト戦略の深耕、②モノづくり企業としての基盤強化、③ソリューション提供企業への変革という3つの基本方針に基き、持続的成長力向上のための課題に取り組んできました。

「グローバル·ベスト戦略の深耕（グローバル化の推進）」については、この3年間で海外拠点を強化し、グローバル展開の器は整いました。今後は、これらの拠点を活用し、中国、環インド洋、欧州といった地域の需要を取り込むことが必要です。

「モノづくり企業としての基盤強化」については、「ダントツ活動」をはじめとした生産性改善に取り組んできました。残念ながら中期経営計画最終年度の利益目標は若干の未達となりましたが、東日本大震災、タイの洪水、尖閣問題に端を発した日中関係の悪化など外部環境が変化する中で、8%台の利益率を確保し続けたことは、一定の成果を残せたと評価しています。

「ソリューション提供企業への変革」の一環として、「エコ&エコ活動」を展開。エコ商品の提供によるお客様のメリットの増大を図りました。エコ商品の売上高比率は、2010年度の18%から2012年度は

27%に拡大するなど、着実に成果が出始めています。また、当社WEBサイト上で、チェーン·精機商品の総合技術情報サイトを構築し、お客様のエンジニアリングサポートを充実させました。お客様の利益に寄与するソリューション提供という点では、さらにお客様の課題に踏み込んで顕在的·潜在的ニーズを掘り起こしていくことが必要だと考えています。

次期中期経営計画は「2014年度からの3か年計画」とし、2013年度は単年度計画としました。それは、新興国を含めたグローバル市場で勝ち残っていくには、今一度、地域戦略を明確にしていく必要があると判断したからです。

モノづくり企業にとって「マーケティング」は不可欠です。日本から見た海外ではなく、「脱·日本発」の発想でそれぞれの地域特性を重視したマーケティング活動を強化し、地域ごとのニーズを吸い上げ、従来の工場主導によるプロダクトアウトからマーケットインへとギヤチェンジを図ります。

2013年度について

2013年度の連結業績予想を1,700億円(前期比13.3%増)、営業利益137億円(同8.9%増)としました。米国や中国、その他のアジア地域で緩やかな成長が見込まれるほか、円高の是正による輸出の増加や政府経済政策などにより、わが国経済も持ち直すものと思われますが、円安による原材料価格の高騰、電気料金値上げなど収益性を押し下げる要因もあることから、売上高に比べ利益の伸びを若干弱めにみています。

このような状況の中、当社グループは地域特性を重視したマーケティングを強化し、中長期的視点から地域戦略、商品戦略を見直すなど、収益体質を改善し持続的成長力を高めていきます。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

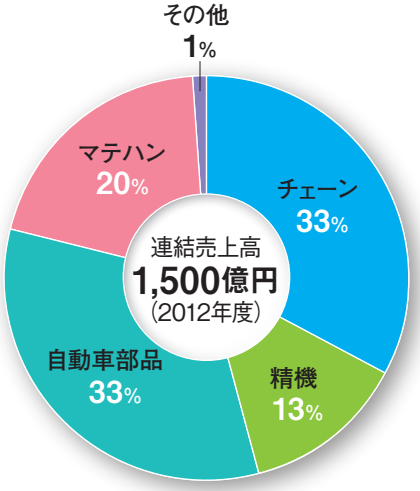
2013年度　連結業績予想と配当予想

		前期比
売　上　高	1,700億円	+13.3%
営業利益	137億円	+8.9%
経常利益	138億円	+7.7%
当期純利益	81億円	+9.0%
1株当たり配当金	第2四半期末:4円/株、期末:4円/株 年間8円/株(前期比1円増配)	

*2013年度の主な為替レートは、1米ドル=95円、1ユーロ=120円を前提としております。
*上記見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

セグメント別の概況

[セグメント別売上高構成比]



事業紹介

チェーン

RS® ローラチェーン「G7-EX」

世界シェアNo.1の動力伝動用ドライブチェーンをはじめ、あらゆる業界に最適なチェーンを提供しています

主要商品

動力伝動用チェーン、搬送用チェーン、一般産業用ベルト、ケーブル・ホース支持案内装置など

精機

サーボモータ用遊星減速機
「つばきPAT-B® シリーズ」

変速機、電動シリンダなどの商品群とその複合技術により最適なパワートランスミッションを提供しています

主要商品

変減速機、直線作動機、締結具、軸継手、カムクラッチなど

自動車部品

低フリクション「ゼロテック®」チェーン

エンジンの高性能化を支えるタイミングチェーンドライブシステムを世界の自動車メーカーに提供しています

主要商品

タイミングチェーン、チェーンテンショナ、ガイド、レバー、スプロケットなど

マテハン

トレー式高速自動仕分け装置
「リニソート®」

仕分け、搬送システムなど、モノと情報の流れをコントロールし、生産性向上に寄与するソリューションを提供しています

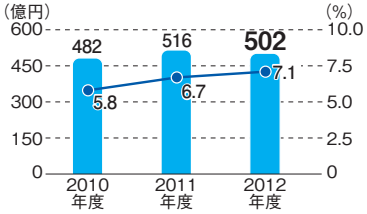
主要商品

自動車製造ライン搬送システム、自動仕分けシステム、粉粒体搬送システムなど

業績推移と概況

小形搬送用チェーン

○売上高*/営業利益率

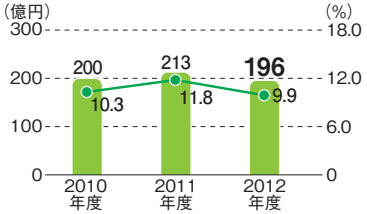


北米、欧州において主要商品の販売が好調に推移しましたが、日本国内で鉄鋼業界や工作機械業界向けの販売が減少したことなどから、売上高は502億円、営業利益は35億円(利益率7.1%)となりました。

2013年度は、中国･天津のコンベヤチェーン工場の稼働率を高めるとともに、世界最適地生産のためのグローバル品質保証体制強化による世界品質の向上をめざします。

直線作動機「パワーシリンダ」

○売上高*/営業利益率

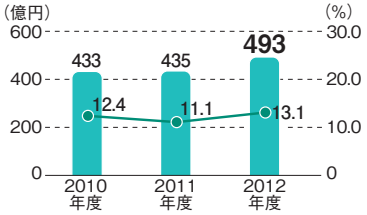


中国において減速機の販売が堅調に推移しましたが、日本国内で液晶･半導体業界向け直線作動機などの販売が低調であったことなどから、売上高は196億円、営業利益は19億円(利益率9.9%)となりました。

2013年度は、コア商品の強化による中国、欧州、東南アジアなどの海外市場の拡大に注力するとともに、原価低減によるコスト競争力の強化に努めます。

テンショナ

○売上高*/営業利益率

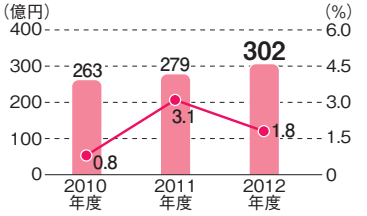


日本、北米、タイなどの地域で主要商品の販売が好調に推移。また、中国における日系自動車メーカーの自動車生産減少も限定的であったことなどから、売上高は493億円、営業利益は64億円(利益率13.1%)となりました。

2013年度は、世界7極生産体制を構築し、埼玉工場での「ものづくり改革」をグローバル展開するとともに、世界トップ5自動車メーカーへの納入拡大をめざします。

金属屑･クーラント処理装置
「ConSep® 2000Ⅱ」

○売上高*/営業利益率



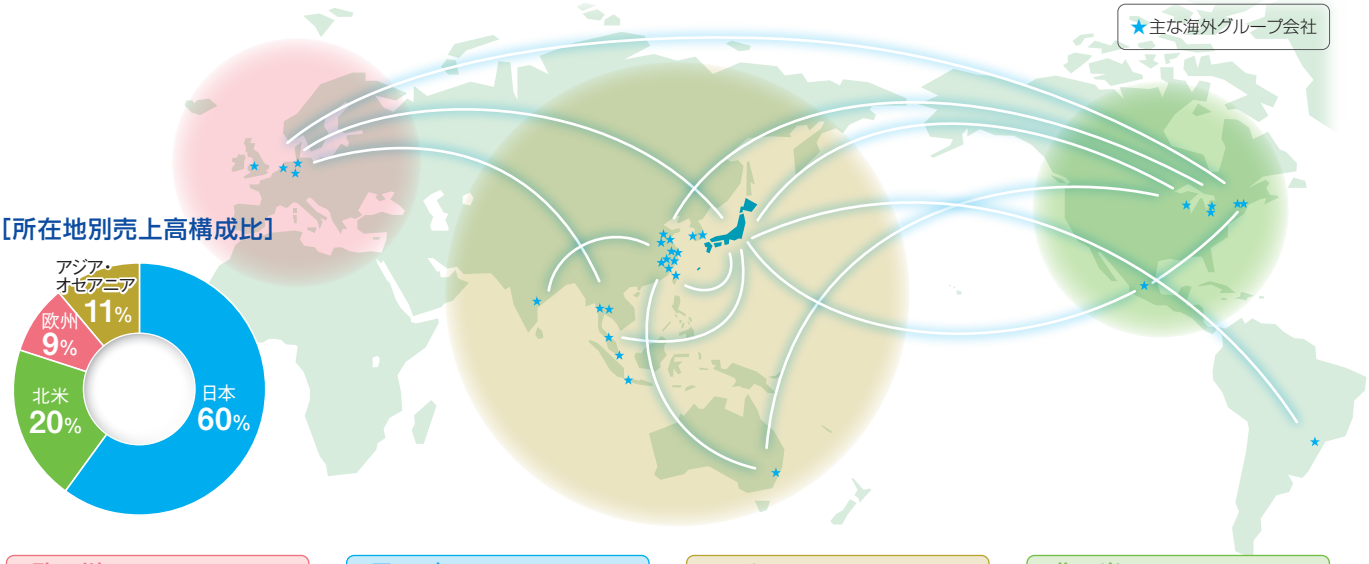
鉄鋼業界向け搬送設備、国内工作機械業界向け搬送設備の販売が減少したものの、メイフラン･ホールディングスグループ傘下の全事業取得に伴う新規連結効果などにより、売上高は302億円、営業利益は5億円(利益率1.8%)となりました。

2013年度は、市場ニーズ･顧客ニーズを的確にとらえた、スピーディーなソリューション提供を強化するとともに、グローバルビジネスの拡大に注力します。

※売上高には「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

所在地別の概況

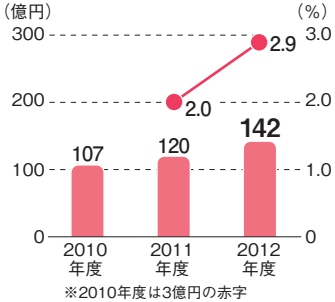
当社は、国内17、海外58の子会社･関連会社を通じて、お客様のグローバル戦略にマッチした商品をタイムリーに提供しています。当期における所在地別の概況は以下のとおりです。



欧　州

産業用チェーン、自動車部品の販売が好調に推移。2012年8月に子会社化したメイフランの新規連結効果などもあり、前期比で増収増益となりました。

○売上高/営業利益率

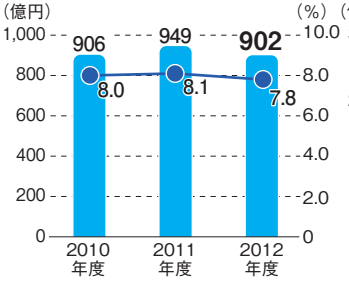


※2010年度は3億円の赤字

日　本

自動車業界関連向けは好調に推移しましたが、工作機械業界向け、液晶･半導体業界向けの販売が低迷したことなどから、前期比で減収減益となりました。

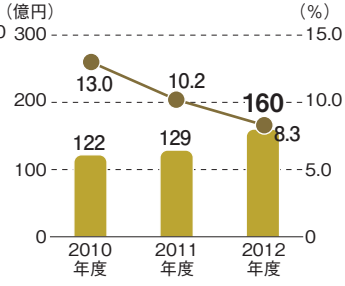
○売上高/営業利益率



アジア・オセアニア

タイ、韓国で自動車部品の販売が増加したことなどから、前期比で増収となりましたが、中国･天津のコンベヤチェーン工場立ち上げ費用などもあり、収益性はわずかながら悪化しました。

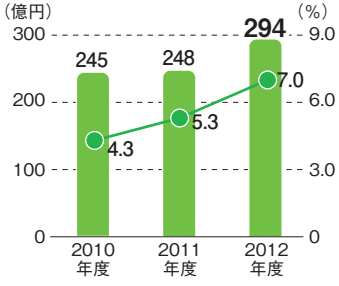
○売上高/営業利益率



北　米

産業用チェーンは大手代理店への販売が増加、自動車部品も販売が好調に推移し、前期比で増収。その効果や経費節減などにより収益性も向上しました。

○売上高/営業利益率



グローバル
ビジネスの
現場から

メキシコに自動車部品の製造拠点設立 世界7極生産体制へ

中南米初の製造拠点をメキシコに設立しました。工場建設を経て2014年1月から自動車エンジン用タイミングチェーンドライブシステムの量産を開始。自動車部品事業では世界7番目の製造拠点としてグローバルビジネスの拡大を図ります。

工場竣工イメージ図

[会社概要]

社　　名：Tsubakimoto Automotive Mexico S. A. de C. V.
会社設立日：2012年10月
所　在　地：メキシコ合衆国グアナファト州（サンタフェ工業団地）

中国・天津のコンベヤチェーン工場が稼働

2013年5月、中国の製造拠点「椿本鏈条（天津）有限公司」の開業記念式典を開催しました。昨年10月の竣工以来、組立、成形、熱処理と順次生産活動を開始。中国でのモノづくりが本格スタートします。

組立第1号のチェーンを前に記念撮影（2012年10月）

インドネシアにマテハン製造拠点設立 旺盛な東アジア地域の需要を取り込む

自動車関連を中心に日系メーカーの進出が相次ぐインドネシアに、マテハンの製造会社を設立しました。2015年2月の新工場竣工・稼働までの間、仮工場での操業とし、現地ニーズへの迅速な対応により売上拡大を図ります。

今年2月より稼働を開始した仮工場

[会社概要]

社　　名：PT. Tsubaki Indonesia Manufacturing
会社設立日：2012年8月
所　在　地：本社／インドネシア共和国ジャカルタ市
　　工場／インドネシア共和国カラワン県カラワン工業団地

トピックス

2012年 10月 October

メキシコに自動車部品事業7番目の製造・販売会社を設立

詳しくは8ページをご覧ください。

第1回つばき技能オリンピックを開催

詳しくは10ページをご覧ください。

技術セミナー「TIT2012」を開催

セミナーには、当社グループ世界11か国の営業関係者20名が参加しました。つばきのモノづくりのDNAを学ぶとともに、つばきファミリーとしての絆を深める5日間となりました。

11月 November

12月 December

プラチェーンの新工場が完成

ツバキ山久チエイン・久喜工場に4階建ての新工場が完成。プラチェーンの増産体制を整備しました。

チェーン・精機商品のグローバル販売戦略会議を開催

米州、欧州、環インド洋、東アジア地域の製造およびマーケティング部門責任者が京田辺工場に集まり開催。世界展開をねらう戦略商品について協議しました。

2013年 1月 January

埼玉工場に自動車部品の新工場棟が竣工

世界7か所に広がるモノづくりをリードする埼玉工場。モノづくり改革活動のモデル工場として、タイミングチェーンの組立、プラスチック製ガイド&レバーの一貫生産ラインを構築し、生産性向上を図っています。

2月 February

3月 March

上海に粉粒体搬送コンベヤのエンジニアリング会社を設立

モノづくりの現場から

モノづくり企業としての基盤を強化
技を競い、技能を磨く「つばき技能オリンピック」開催

つばきのモノづくりを支える技能のいっそうのレベルアップと技能伝承の仕組みづくりをねらいに、昨年10月28日から3日間にわたり、「第1回つばき技能オリンピック」を開催しました。国内製造会社から選抜された51名が参加し、7つの競技で熱戦を繰り広げました。

競技種目には、当社グループの4つの事業に共通する基礎技能を選び、当社オリジナルの課題内容を設定。技能者が互いに切磋琢磨し、出場・入賞が目標となる大会をめざし、毎年開催していきます。

大会委員長より

モノづくりを支える「技能」と「技術」

出場者だけでなく、各部門での予選サポートや大会関係者など多くの人が参画する素晴らしい大会となりました。大会を通じて部門間の垣根を越えての技術交流がさらに広がり、より多くの方が参加することで、モノづくりの基盤強化につながっていくと期待しています。

近い将来、グローバル開催となるよう、この大会を充実させていきます。

大会委員長（代表取締役社長）
長　勇

普通旋盤

普通旋盤を使い適正な工具と加工条件を駆使して、モノづくりの基本となる削り加工の技能を競います

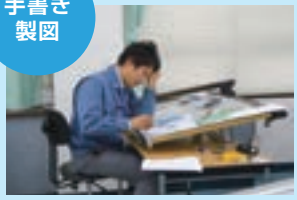
溶　接

難易度の高い溶接指示に対し、金属の性質、溶接理論に加え、電流と電圧、溶接速度などの溶接技能を駆使して、要求寸法どおりに仕上げていきます

射出成型

2種類の樹脂材料を使って射出成形の技能を競う競技。材料特性に合わせた条件設定が不可欠です

手書き製図



製図の基礎を身に付け、図面構成力を磨くため、あえてCADは使わず、手書き製図にこだわった競技です

計　測

出来上がった製品がねらい通りに仕上がったかどうか、正しく評価する測定技能を競います

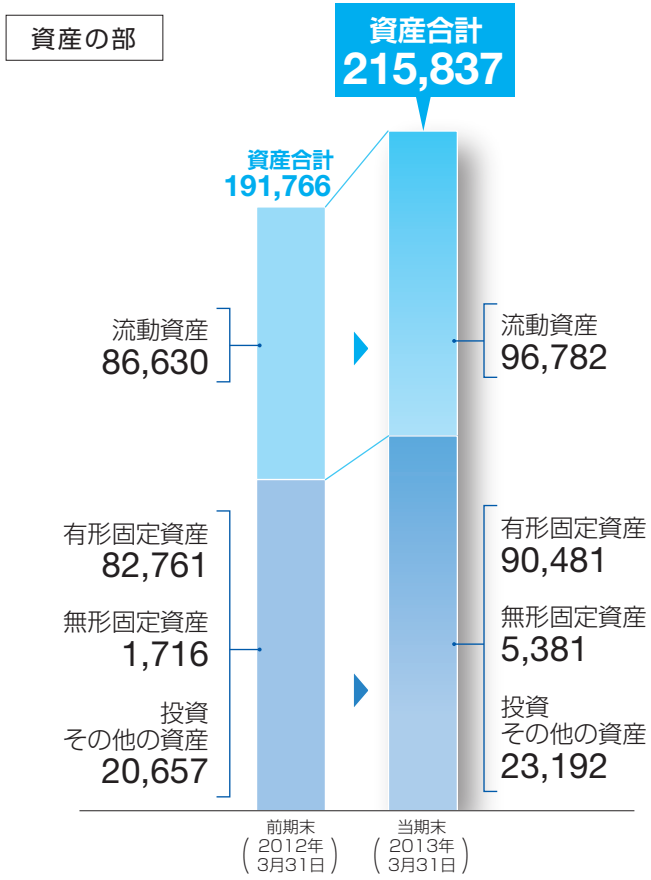
フォークリフト運転

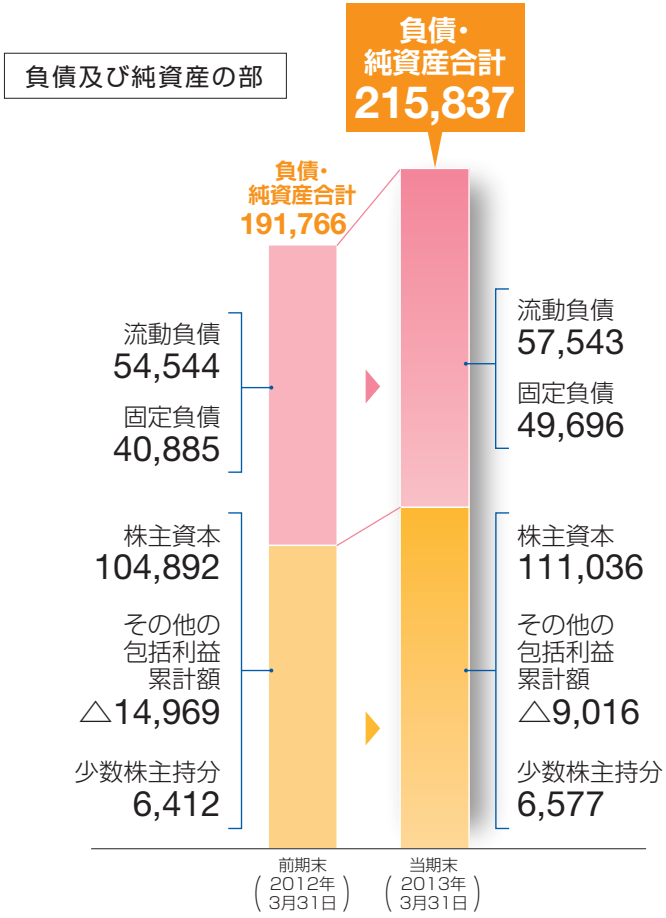
フォークリフトの安全運転、設備点検の正確な実施と、所定時間内でのスピーディな運転操作を競います

段取り改善技能（チーム競技）

モノづくりのキーとなる「段取り」の改善技能をチームで競う競技。発表会を通じて、活動内容と成果を他工場と共有しました

○連結貸借対照表の概要 (百万円)





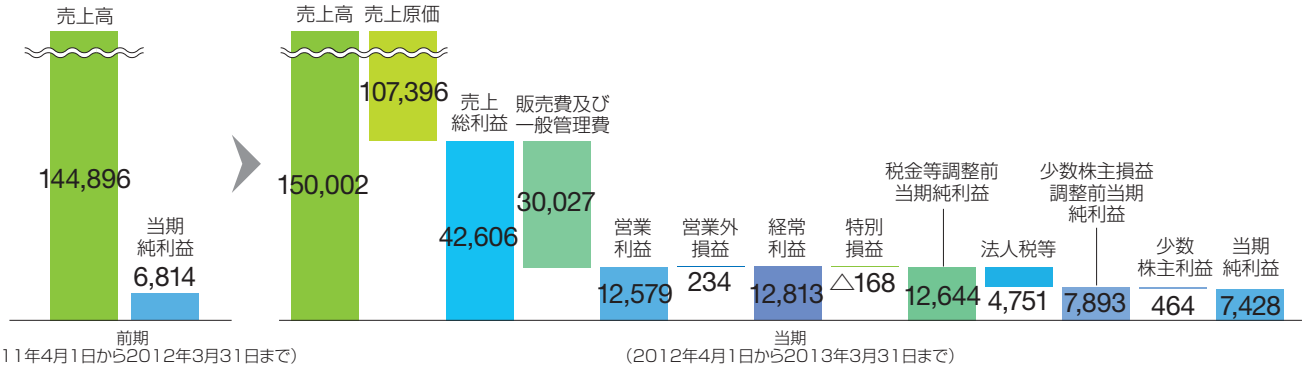
POINT! 総資産は、240億71百万円増加

[資　産] 流動資産：101億51百万円増加
椿本鏈条(天津)有限公司の新規連結などにより、現金及び預金が増加したことなどによる
固定資産：139億19百万円増加
メイフラン・ホールディングスグループ傘下の全事業取得によるのれんの増加、生産設備への投資などによる有形固定資産の増加などによる

[負　債] 負債：118億9百万円増加
長期借入金の増加などによる

[純資産] 純資産：122億61百万円増加
利益剰余金、為替換算調整勘定の増加などによる

○連結損益計算書の概要（百万円）



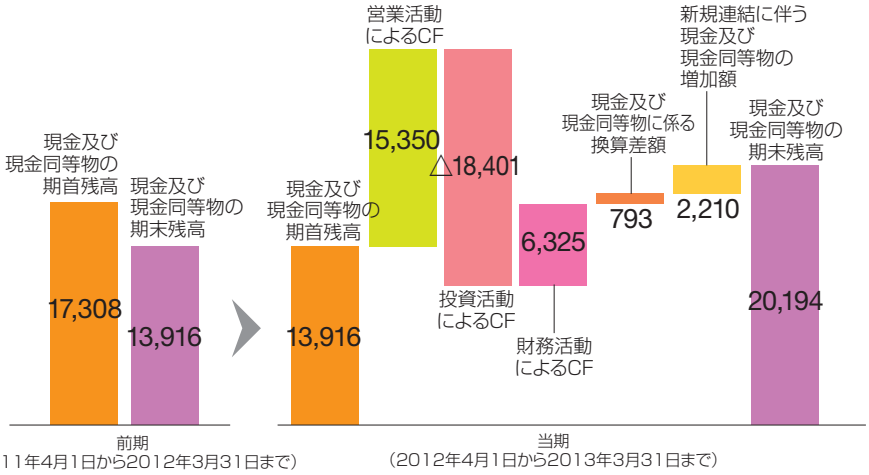
POINT! 売上高

海外での販売が好調に推移したこと、国内自動車生産が増加したことなどにより、前期比51億6百万円増加

POINT! 営業利益

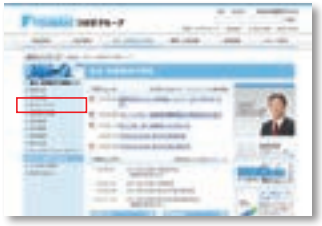
増収に加え、コストダウン、経費節減への取り組みによる体質改善効果などから、前期比4億97百万円増加

○連結キャッシュ・フロー計算書の概要（百万円）



さらに詳しい財務データは、当社ホームページの「IRライブラリ」をご覧ください。

ツバキモト IR　検索



http://www.tsubakimoto.jp/ir/library/

企業・株式データ（2013年3月31日現在）

会社概要

商号	株式会社　椿本チエイン
本店所在地	大阪市北区中之島3丁目3番3号
設立年月日	1941年（昭和16年）1月31日
資本金	17,076,679,589円
工場	京田辺・埼玉・京都・兵庫
支社	東京・名古屋・大阪
営業所	仙台・大宮・横浜・静岡・豊田・北陸・四国・広島・九州
関係会社	連結子会社：53社 非連結子会社：12社 関連会社：10社（うち持分法適用関連会社2社）
従業員数	連結6,792名　単体2,203名 （従業員数には契約社員、パート、アルバイトを含んでおります。）

役員

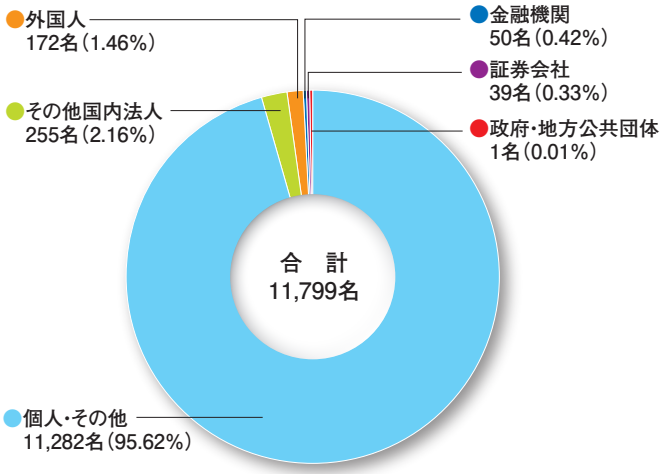
（2013年6月27日現在）

代表取締役社長	長　勇
取締役専務執行役員	藤原　透
取締役常務執行役員	鈴木　恭
取締役常務執行役員	山本　哲也
取締役常務執行役員	春名　秀昭
取締役	矢嶋　英敏（※1）
取締役	阿部　修司（※1）
常勤監査役	竹村　雅弘
常勤監査役	冨田　喜久男
監査役	徳田　勝（※2）
監査役	渡邊　隆文（※2）
専務執行役員	高橋　利夫
専務執行役員	近藤　正人
常務執行役員	宮本　治郎
上席執行役員	牛田　雅也
上席執行役員	酒井　俊光
執行役員	坪和　伸光
執行役員	川口　博正
執行役員	山本　雅彦
執行役員	小林　均
執行役員	藤井　幸博
執行役員	大原　靖
執行役員	古世　憲二

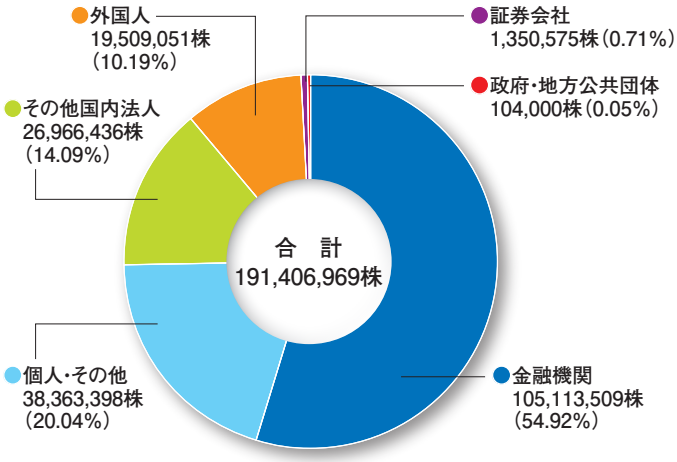
（※1）取締役のうち矢嶋英敏氏および阿部修司氏は社外取締役であります。
（※2）監査役のうち徳田勝氏および渡邊隆文氏は社外監査役であります。

株式の所有者別分布状況

○株主数



○所有株式数



株式の状況

発行可能株式総数	299,000,000株
発行済株式の総数	191,406,969株
株主数	11,799名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
太陽生命保険株式会社	18,398千株	9.83 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	12,488	6.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	11,593	6.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	11,333	6.06
日本生命保険相互会社	10,944	5.85
トヨタ自動車株式会社	7,722	4.13
株式会社三井住友銀行	7,034	3.76
椿本チエイン持株共栄会	6,330	3.38
椿本興業株式会社	5,194	2.78
三井住友信託銀行株式会社	4,245	2.27

（注）1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式4,263,619株を保有しておりますが、上記大株主には含めておりません。
3. 持株比率は、自己株式4,263,619株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　**0120-782-031**（フリーダイヤル） ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに掲載 （事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載）

株主の皆様へのお知らせ

○配当金のお受け取り方法について
（配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様へ）

当社では、安全・確実に配当金をお受け取りいただくため、銀行等の口座への振込による配当金のお受け取りをお勧めしております。

現在、配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、ぜひこの機会に口座振込による配当金のお受け取りをご検討いただきますようお願いいたします。

○住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株式預け入れ先の証券会社にお申し出ください。
なお、株券電子化の手続（証券会社への預け入れ）が済んでいない株式に関しましては、三井住友信託銀行株式会社（特別口座の口座管理機関）にお申し出ください。

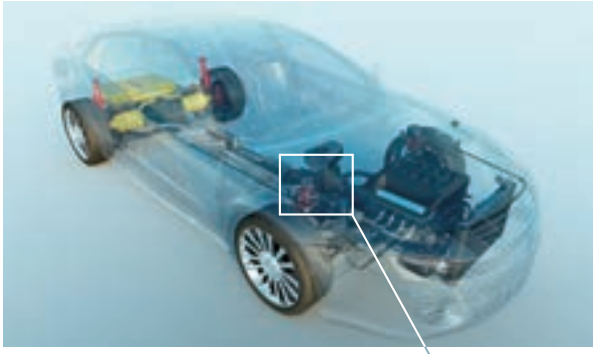
○株券電子化の手続（証券会社への預け入れ）が済んでいない株式について

株券電子化の手続（証券会社への預け入れ）が済んでいない株式は、特別口座にて管理されています。特別口座は株式を売買するための取引口座ではありませんので、株式の売却の際は、あらかじめ証券会社の口座へ振り替えておく必要があります。詳細は、三井住友信託銀行株式会社（特別口座の口座管理機関）にお問い合わせください。

特別口座の口座管理機関　三井住友信託銀行株式会社

（連絡先）　〒168-0063　東京都杉並区和泉2丁目8番4号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話　0120-782-031（フリーダイヤル）

チェーンあれこれ 5　（表紙の写真）



パワードライブチェーン
（自動車部品）

一見スチール製ベルトのように見えるこの商品は、「パワードライブチェーン」。4輪駆動車のトランスファーケース内で、エンジンからの動力を受け、車輪に駆動力を伝達するために使用されるチェーンです。ギア式に比べ静粛・軽量・低コスト、さらには環境・快適性向上など4輪駆動車の要求性能に応える非エンジン系の自動車部品です。

他の商品はホームページへ

椿本チエイン　検索

株主通信（事業のご報告）に関するお問い合わせ先

社長室 広報・IR課　**06-6441-0054**

株式会社 椿本チエイン
http://www.tsubakimoto.jp/

VEGETABLE OIL INK

この冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。